



# 授業づくり講座 in 安芸市立井ノ口小学校

他教科のレポートも掲載中！  
HPをご参照ください。  
発行:令和3年12月 東部教育事務所



いのくち

## 道徳科 授業づくり講座 コンセプト

- 1 「考え、議論する」道徳科の授業実践  
～指導の要点を明確にした授業づくり～
- 2 授業力の向上  
～主題に迫るために～
- 3 人のつながり、学びの高まりの構築  
～他者との交流から学びの質を高める講座～

【主題名】心のキャッチボール 【相互理解、寛容】高B(11)

【教材名】すれちがい(「小学道徳 生きる力 5」日本文教出版)

【第5学年 授業者】 長谷 和樹 教諭

内容項目について、学習指導要領解説の言葉をしっかり理解しておくことや、考えを広げたり深めたりする「問い返し」の発問の重要性を改めて学びました。



## 授業研究会 (11月10日)

教材研究会(9月8日)が中止となったため、はじめに学校から授業研究会までの授業づくりの取組について説明がありました。

### 子供の实態と発達の段階を踏まえる

**児童の実態:**自分と異なる意見に対して否定し合い、話し合いがまとまらなくなることや、自分の意見を言うことを諦めている児童もいる。

**教師の願い:**相手の考え、意見、立場を広い心で謙虚に受けとめると、自分の見方・考え方がより豊かなものになるといふ、「違いは豊かさ」に気付かせたい!

### 他の教育活動との関連



### ICT 研修



道徳性を高める道徳教育が組織的・計画的に行われています

## 学習指導案より

### 指導の要点

自分と意見が異なる相手に対しても、相手の立場に立って意見を受け入れようとする広い心を持ち、互いに理解し合いながら違いを生かして考えを広げていくことで、よりよい関係やよりよいものが生まれることの良さについて考えを深めさせる。

児童の言葉で具体的に表すと...

### 授業を通して引き出したい児童の考え

- ・相手と自分の考えが違っていても、相手のことを考え、受け入れる心があれば、けんかがなくなる。
- ・相手のことを思いやる心があれば、友達と仲良くなる。
- ・自分の過ちを素直に認めて、悪かったことを謝る心があれば、気持ちよく遊ぶことができる。
- ・自分だけではなく、みんなにも譲る心があればもっといいクラスになると思う。
- ・相手の考えを受け入れる心を持てたら、もっと楽しいアイデアが出てくるかも。

### 本時のねらい

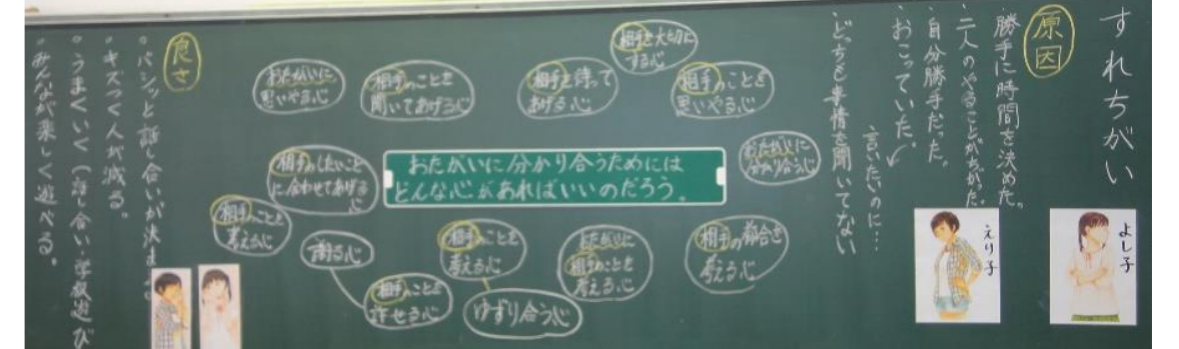
よし子とえり子のすれちがいの原因やお互いを理解するために大切な心を考えることを通して、自分にも足りないところがあることや、意見の違いはよりよいものが生まれる豊かさにつながることに気づき、広い心で接しようとする心情を養う。

### 教材研究のポイント

- ★「指導の要点」と「授業を通して引き出したい児童生徒の考え」を明確にもつ
- ★指導の工夫を評価の視点例「自分自身との関わり」「多面的・多角的」から考える
- ★主題に迫る問い返し発問を複数構想する

## 本時の展開・板書

学習活動◆問い返し	実際の児童の反応
1. 前回の学習(相互理解、寛容)を振り返り、自分の心の広さを想起する。 ・個々の心の広さを表した「心情円」を電子黒板に表示する。(ICT 活用)	・運動会に向けての話合いで、友達の意見を受け入れることができた。 ・ちょっと受け入れられなかったこともある。
2. 教材を読み、話し合う。 ○よし子とえり子がすれちがったのは、何が原因?  お互いに分かり合うためには、どんな心があればいいのだろう。	・自分勝手。・どちらも話を聞いていない。  ・相手のことを思いやる心。・話を聞いてあげる心。 ・お互いに譲り合う心。・謝る心。 ・いつも自分の意見が通るわけではないという心。
◆こんな心が持てるといいけど、実際はどう? ◆(学級会などで)広い心を持って、自分と異なる考えを受け入れることができたなら、何かいいことがある?	・傷つく人が減る。・話し合いがパシッと決まる。 ・みんなが楽しく遊べる。
3. 自分自身の今の心の広さを見つめる。 ○広い心について気付いたこと、これからの自分に欲しい心は?	・相手を思いやる心。・相手の都合を考える心。 ・違う意見も、自分にはない考えだから、プラスになる。



## 事後協議

工夫・指導上の効果	視点① 自分自身との関わりで考えるために 心情円の活用(導入と終末)	視点② 多面的・多角的に捉えるために お互いに分かり合うための心を考え、 ウェビングマップを用いて深めていく。	視点③ 主題に迫るために
○心情円の活用や実生活の例を取り上げたことで、自分事として考えていた。 ●深めるために更に理由を尋ねたり、書かせたりする。	○大切な心で出た意見で、「相手」「お互い」の共通の視点を捉えていた。 ●思考ツールをグループで活用するなど、子供同士の対話の場を作る。 ●考えの相違点を板書に示し、子供同士で質問し合うなど、つなげていく。	●「広い心」とはどんな心か、実際にはどうかを考えさせる。 ●ロイロノートを使って考えを共有させる。 ●学級会と関連して考えさせる。 ○ICTを活用し、考えの共有ができていた。 ●相手を常に「受け入れる」だけでなく、相手も自分も大事にするには「受けとめる」。そのため大切にしたいことを追究したい。 ●いつも受け入れていいの?自分の気持ちは? 「相手」と「お互い」の違いは?	



### 事後協議のポイント

- ★指導の工夫の効果を生徒の姿から見取り、検証する
- ★評価のモデレーションを行い、子供の学びの姿を見取る精度を高めたり評価コメントや授業改善に生かしたりすることも有効

## 演習 評価のモデレーション

### 【モデレーション】

複数の教師が評価の過程や結果について比較・検証を加え、解釈の仕方を調整(moderate)する営み。

### 【道徳科のモデレーション活動例】

各視点に沿ってよさを捉える

- ①初めは自由に自分の考えを述べること。
- ②自他の考えの相違に着目すること。
- ③自他の考えの相違が生じた理由を話し合うこと。
- ④指導の意図や子供の実態などモデレーションに必要な情報を確かめながら、考えの調整や収束を行うこと。



評価の視点に沿って子供の見取りを話し合い、評価コメントを考えました。

## 参加者の声

- 学習指導要領解説の言葉をしっかり読み、何に重きを置いて考えさせるかをつかんでおく必要性を学んだ。
- ICTは今後も目的と効果を考え活用していきたい。 ○主題に迫るための問い返しの発問を複数考えておく。
- 子供の姿から評価コメントを書くモデレーションは、授業づくりの点でも子供を見取るという点でも大変良かった。